

大型研究計画検討分科会の次期への申し送り事項

1. 全体的な（会長及び幹事会への）申し送り事項
 - ① 「学術の大型計画検討分科会」を次期以降も引き続き組織することで、3年ごとの改訂を中心とする日本学術会議の大型計画に関する活動を継続発展させること。
 - ② 今後3年ごとのマスタープラン改訂と継続的改善を念頭に置いて、「学術の大型計画検討分科会」を科学者委員会の常設分科会とすることが適当かどうか検討。
 - ③ 6年ごとの「日本の展望」との有機的結合を活動方針に織り込むこと。
2. 文部科学省をはじめとする関係省庁・機関との連携の継続・強化をお願いしたい。
3. 次期科学者委員会およびそこに設置される次期分科会への申し送り事項
 - ① マスタープランの3年目改定は、2013年3月をめどとすることになる。改定作業には1年以上を要することから、早期の準備開始をお願いしたい。
 - ② 3年目改定に際しては、今回も課題とされた以下の事項をあらかじめご検討願いたい。
 - ・ マスタープラン課題決定プロセスの検証と再検討について
 - ・ 現在7つとしている分野の設定と名称について（例えば、人文・社会科学系→「人文学」と「社会科学」、生命科学系→「医療・健康科学系」と「生命科学・農学系」など）。
 - ・ 一覧表に記載する計画責任者、及び計画実施の主体となる機関の明確化について。
 - ・ 報告書の「課題説明」部分のカラー化について
 - ・ 課題説明も含めた英語版の制作について。

（以上）